

# 政策シート

(政策名) 開発と保全が調和する土地利用の推進  
 (予算費目名) 土地政策費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

## ◆基本政策 安全で安心して暮らせる持続可能な地域社会づくり

### ◇政策の概要

土地は、現在及び将来における市民のための限られた資源であり、市民の諸活動の共通の基盤であるため、土地についての公共の福祉を優先させ、自然環境の保全を図りつつ、地域の自然的・文化的な条件に配慮し、市民のための健康で文化的な生活環境の確保と本市の均衡ある発展を目指すと共に、都市計画マスタープランに掲げる「拠点ネットワーク型都市構造」及びエネルギービジョンに掲げる「エネルギーに不安のない強靱で低炭素な社会」の実現を目指す「浜松版スマートタウン」の誘導を行う。  
 また、浜松市景観形成基本計画に基づき、景観を「守り」「育み」「創り」、地域の価値を高め、魅力的な地域づくりを推進することにより、良好な景観の形成を目指す。

### ◇関連するSDGsのゴール

①都市								
-----	--	--	--	--	--	--	--	--

### ◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	28,959	20,812				
決算	24,655					
人件費(A)	235,220	215,700				
報酬(B)	236	550				
年間経費(予算又は決算+A+B)	260,111	237,062				

### ◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
土地利用協議会の活動支援数(支援地区数)	地区	目標	1	1	1	1	1	1
		実績	0					
景観計画区域内の行為の届出件数(件)	件	目標	100	100	100	100	100	100
		実績	198					
屋外広告物新規許可件数(件)	件	目標	300	300	300	300	300	300
		実績	386					

### ◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

土地は、現在及び将来における市民のための限られた資源であり、市民の諸活動の共通の基盤であるため、土地についての公共の福祉を優先させ、自然環境の保全を図りつつ、地域の自然的・文化的な条件に配慮し、市民のための健康で文化的な生活環境の確保と本市の均衡ある発展を目指す。  
 また、浜松市景観形成基本計画に基づき、景観を「守り」「育み」「創り」、地域の価値を高め、魅力的な地域づくりを推進することにより、良好な景観の形成を目指す。

### ◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	計画通り
【土地利用協議会活動支援事業】	・土地利用協議会からの地区計画原案の作成・申出に関する支援要請はなかった。
【景観形成事業】	・建築物・工作物等の景観誘導は、届出における協議により景観誘導を実施した。
【屋外広告物管理事業】	・屋外広告物の新規許可件数は、道標案内図板に係る要綱施行に伴う駆け込みの申請件数が増加したことで目標値の2倍強となった。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)	
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)		会計年度 (人事課)
1	土地利用適正化事業			○	○	112,827	5,206	13.7	1.0		2.8	281
2	まちづくり推進事業			○		20,795	2,035	2.6			0.2	
3	景観形成・保全事業			○		93,739	10,450	10.7			2.9	269
4	土地政策運営経費					9,701	3,121	0.9			0.1	
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						237,062	20,812	27.9	1.0		6.0	550

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

## 事業シート (事業名) 土地利用適正化事業

### ◇事業目的・事業対象

国土利用計画法や地価公示法で策定・実施が定められた市域を包括する土地利用の指針となる「国土利用計画浜松市計画」による指導・調整や土地取引等の基礎調査を行う。また、都市計画法等に基づき、都市周辺部における無秩序な市街化の防止、安全で良質な宅地を確保することで、政令指定都市にふさわしい土地利用の実現を図る。

### ◇事業の概要

【土地取引規制基礎調査事業】  
 ・短期動向調査、成約価格動向調査、相当価額検討会  
 【宅地耐震化推進事業】  
 ・他都市の取組み状況収集、国の動向情報収集及び市内の現況調査  
 【開発登録簿電子化事業】  
 ・図面の電子データ化を行い、専用端末機により管理し、検索性向上、閲覧・交付事務の迅速化を図る。  
 【市街化調整区域における集落制度に関する開発許可制度の運用基準の見直し】  
 ・市街化調整区域の基本方針・開発許可制度の運用基準の見直し(案)について協議調整を行い、条例改正及び運用基準の改正に向けて手続きを進めて行く。  
 【R1-R4重点戦略項目No.144】【浜松版スマートタウン開発支援事業(補助金)】  
 ・市街化区域内の大規模工場跡地等(3,000㎡以上)を「浜松版スマートタウンガイドライン」に沿った宅地開発を行う開発事業者へ補助金交付

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H19	—	一般会計	自治事務(法令義務)	国土利用計画法、都市計画法、景観法、屋外広告物法	—	○	○

### ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	3,646	5,206				
	決算	3,532					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	3,532	5,206				
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(千円)	156	281				
	人件費(千円)	119,440	107,340				
人工	正規	16.6	13.7				
	再任用(h31)	0.9	1.0				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		2.8				

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.a
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

土地利用適正化事業の推進により、適正な土地利用の誘導と合わせて包摂的で安全かつ持続可能をまちづくりを促進する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
国土利用計画浜松市計画に基づく届出事業指導(%)					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	100	100	100	100	100	100	100
実績値	100	100					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
浜松版スマートタウン誘導件数(件)							144
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	3	3	3	3	3	3	3
実績値	3	3					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

<p>【土地取引規制基礎調査事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・短期動向調査、成約価格動向調査、相当価額検討会の調査結果を、国土利用計画法に基づく土地取引の届出に関する適正な土地利用の指導や地価決定における会議での根拠として利用する。</li> </ul> <p>【宅地耐震化推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他都市の取組み状況収集、国の今後の動向情報収集及び市内の現況調査</li> </ul> <p>【開発登録簿電子化事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図面の電子データ化を行い、専用端末機により管理し、検索性向上、閲覧・交付事務の迅速化を図る。</li> </ul> <p>【市街化調整区域における開発許可制度の運用基準の見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市街化調整区域における開発許可制度の運用基準の見直し案作成に向け、上位計画や各施策等と整合し、適切な土地利用が図られるよう関係部署との協議調整を行う。</li> </ul> <p>【浜松版スマートタウン開発支援事業(補助金)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模工場等跡地を宅地開発する事業者に対し、浜松版スマートタウンの誘導を行う。</li> </ul>
--

・事業の成果と課題

<p>指標の達成度</p> <p>計画通り</p> <p>【土地取引規制基礎調査事業】・国土利用計画法に基づく土地取引動向、地価動向等の調査検討業務を発注し、地価動向の把握、土地取引状況の把握、価額算定の適正化を図った。</p> <p>【宅地耐震化推進事業】・他都市の取組み状況及び国の動向情報を収集し、市内の現況を一部調査した。</p> <p>【開発登録簿電子化事業】・開発登録簿の紙文書の電子化(3年計画の最終年度)を行い、専用端末機にて管理運営することにより事務の合理化を図った。</p> <p>【市街化調整区域における開発許可制度の運用基準の見直し】・市街化調整区域の開発許可制度の運用基準の見直し案の作成に向け関係各課と協議調整を行った。</p> <p>【浜松版スマートタウン開発支援事業(補助金)】・大規模工場等跡地を宅地開発する事業者に対し、浜松版スマートタウンの誘導を行う予定であったが、対象となる案件がなかった。</p>
---

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  現状  小項目  /  事業費  現状  人工  現状

- ・土地取引に係る事務処理(届出件数:110件)を適正に行い、地価調査、地価公示各2地点の選定替が実施された。
- ・宅地耐震化推進事業は、今後事業を実施するかどうかについて、情報を収集した。
- ・電子化に併せて許可番号と登録簿番号を紐づけて早見表を作成し、検索性の向上と管理の合理化を図った。
- ・開発許可制度の運用基準の見直しは、他課が保有するデータを有効活用し、作業の効率化を図った。
- ・大規模工場等跡地を宅地開発する事業者3者に対し、浜松版スマートタウンの誘導を行う予定であったが、対象となる

今後の方向性

大項目  現状  小項目  /  事業費  現状  人工  現状

- ・土地取引の適正な規制・誘導を行うため、土地取引規制調査業務を行い地価動向を把握する必要がある。
- ・宅地耐震化推進事業は、他都市の取組みや国の動向により、今後事業を実施するかどうか検討を進めていく。
- ・開発登録簿は、今後も質の低下を招くことなく効果的・効率的管理運営に努める。
- ・開発許可制度の運用基準の見直しは、関連上位計画等との整合を図りつつ検討を進めていく。
- ・土地利用事業の事前協議において浜松版スマートタウンガイドラインの説明及び誘導をしていく。

## 補助シート (事業名) 土地利用適正化事業

◇【R1～R4】事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
144	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地利用事業の事前協議において浜松版スマートタウンガイドラインの説明及び誘導</li> <li>・誘導件数(目標3件)</li> </ul>			

# 事業シート (事業名) まちづくり推進事業

## ◇事業目的・事業対象

住民主体のまちづくり活動を推進するため、住民発意によるまちづくり活動の初動期のサポート及び住民協議推進条例に基づいて認定された土地利用協議会の活動を支援し、この活動により作成・申出された地区計画原案や開発条例区域案の決定又は指定することでまちづくりの目標を実現する。

## ◇事業の概要

### 【土地利用協議会活動支援事業】

- まちづくり活動のサポート
  - ・土地利用協議会設立までのサポートについては、まちづくり活動の内容に応じて必要なアドバイザー派遣を行う。
- 土地利用協議会への活動支援
  - ・土地利用協議会から支援要請を受けて、地区カルテの作成や地区計画原案等の作成・申出等の支援を行う。

### 【都市計画図書作成事業】

- 都市計画図書作成業務
  - ・土地利用協議会からの申出や法改正等に伴う地区計画の都市計画決定又は変更の手続きに必要な都市計画図書の作成や権利調査を行う。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H16	—	一般会計	自治事務(法令義務)	都市計画法、住民協議推進条例、地区計画手続条例、開発区域指定条例	—	—	○

## ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	4,302	2,035				
	決算	3,190					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	3,190	2,035				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		23,660	18,760				
人工	正規	3.3	2.6				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.2	0.2				

## ◇SDGsとの関連

### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.a
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

### ・事業とゴールの関連性

まちづくり推進事業の推進により、適正な土地利用の誘導と合わせて包摂的で安全かつ持続可能をまちづくりを促進する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
土地利用協議会の活動支援数(支援地区数)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	1	1	1	1	1	1	1
実績値	0	0					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

【土地利用協議会活動支援事業】

○まちづくり活動のサポート

・土地利用協議会設立までのサポートについて、まちづくり活動の内容に応じて必要なアドバイザー派遣を行う。

○土地利用協議会への活動支援

・土地利用協議会から支援要請を受けて、地区カルテの作成や地区計画原案等の作成・申出等の支援を行う。

【都市計画図書作成事業】

○都市計画図書作成業務

・法改正に伴う地区計画の変更要因調査の結果を踏まえて都市計画変更が必要な地区を選定し、地域住民の合意形成を図りながら都市計画図書の作成を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

【土地利用協議会活動支援事業】

・土地利用協議会設立に関するアドバイザー派遣の要請はなかった。  
・土地利用協議会からの地区計画原案の作成・申出に関する支援要請はなかった。

【都市計画図書作成事業】

・地区計画の変更要因調査の結果を踏まえて都市計画変更が必要な地区を4地区選定し、地域住民の合意形成を図りながら都市計画図書の作成を行った。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・土地利用協議会からの地区計画原案の作成・申出に関する支援要請はなかったため、事業費や人工の増大等はなかった。
- ・都市計画図書作成は、地区計画の都市計画変更が必要な4地区について実施した。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・本市においては今後も様々なまちづくり活動が想定されるため、受益者負担の観点から支援事業を見直すとともに、無理のない住民協議システムの再構築が求められる。ただし、当該システムは、条例手続きに基づき構築されているため、上位計画の見直し等に合わせて条例改正を検討していく必要がある。
- ・アドバイザー派遣制度は、地域の意向を踏まえて適切に支援を行う必要があるため、市職員による出前講座等により地域の意向や課題等を把握する中で派遣するアドバイザーを選定することとしている。

## 事業シート (事業名) 景観形成・保全事業

### ◇事業目的・事業対象

都心の市街地、恵まれた自然、生活文化や歴史を反映した生活空間を市民・事業者・行政が協働で良好な地域景観として保全・育成することにより、地域の価値を高め魅力的なまちづくりを行う。

### ◇事業の概要

#### 【景観形成事業】

- 建築物・工作物等の景観誘導
  - ・景観計画区域内及び都市景観形成地区内の行為に対する景観誘導により、良好な景観形成を推進
- 地域における景観まちづくりの推進
  - ・良好な地域景観の保全・形成活動に必要なアドバイザー派遣などにより、地域における景観まちづくりを推進
- 歴史的風致維持向上計画の策定
  - ・浜松市の歴史的風致の調査、歴史的風致維持向上計画の策定

#### 【屋外広告物管理事業】

- 屋外広告物に関する手続き事務
  - ・屋外広告物条例に基づく、屋外広告物の設置にかかる許可、屋外広告物の登録事務等
- 普及啓発及び是正指導
  - ・屋外広告物講習会、はままつ広告景観賞の開催、違反広告物の指導及び指導方針の検討

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S63	—	一般会計	自治事務(法令義務)	景観法、屋外広告物法、浜松市景観条例、浜松市屋外広告物条例、地域における歴史的風致の維持及び向上	—	—	○

### ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	17,890	10,450				
	決算	15,803					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	15,803	10,450				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)		80	269				
人件費 (千円)		85,120	83,020				
人工	正規	11.0	10.7				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	2.9	2.9				

### ◇SDGsとの関連

#### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.a 11.4
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

#### ・事業とゴールの関連性

景観形成・保全事業の推進により、適正な土地利用の誘導と合わせて包摂的で安全かつ持続可能をまちづくりを促進する。  
 また、地域に残る文化遺産の保存と活用による個性あるまちづくりを推進することで、文化の多様性を涵養し、市民のシビックプライド(誇りや愛着)を育み、まちの持続可能性に貢献する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
景観計画区域内の行為の届出件数(件)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	100	100	100	100	100	100	100
実績値	239	198					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
屋外広告物新規許可件数(件)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	300	300	300	300	300	300	300
実績値	662	386					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

【景観形成事業】

- 建築物・工作物等の景観誘導
  - ・景観計画区域内及び都市景観形成地区内の行為に対する景観誘導により、良好な景観形成を推進
- 地域における景観まちづくりの推進
  - ・良好な地域景観の保全・形成活動に必要なアドバイザー派遣などにより、地域における景観まちづくりを推進
- 歴史的風致維持向上計画の策定に着手
- 浜松市景観審議会の運営事務

【屋外広告物管理事業】

- 屋外広告物に関する手続き事務
  - ・屋外広告物条例に基づく、屋外広告物の設置にかかる許可、屋外広告物の登録事務等
- 普及啓発及び是正指導
  - ・屋外広告物講習会、はままつ広告景観賞の開催、屋外広告物の安全確保のための規則改定、浜名湖サイクリングロード沿線の整備(観光の促進事業)支援

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

【景観形成事業】

- ・建築物・工作物等の景観誘導は、届出における協議により景観誘導を実施した。
- ・地域における景観まちづくりの推進は、地域住民等からアドバイザー派遣の要請がなかった。

【屋外広告物管理事業】

- ・看板等を設置する際、屋外広告物条例に基づくルールを守り、許可申請がなされることが良好な景観形成への第一歩である。今年度の新規許可件数は目標値を上回っており、普及啓発や是正指導の成果が出ている。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・建築物・工作物等の景観誘導は、届出における協議により景観誘導を実施した。
- ・屋外広告物への啓発事業である広告景観賞事業に伴い、地域の専門学校へ出向き、広告物条例の概要、広告物安全管理についての講義を行った。また、国の指導に基づく、広告物の安全性確保のための規則改正を行い、広告主、広告事業者への通知、啓発を行った。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・建築物・工作物等の景観誘導は、引き続き届出における協議により景観誘導を実施する。
- ・地域における景観まちづくりの推進は、対象地域を抽出して地域関係者への働きかけをより推進していく。
- ・関連業界及び広告主等を対象とした屋外広告物に関する講習会や出前講座の機会を増やし、事業成果の向上を目指す。

令和2年度

(管理番号)  
03 03 02 01 002103000 04

(担当課)  
土地政策課

(責任者)  
山田 雅之

(基準日)  
令和 2 年 7 月 1 日

# 事業シート (事業名) 土地政策運営経費

## ◇事業目的・事業対象

## ◇事業の概要

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					-	-	-

## ◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	3,121	3,121				
	決算	2,130					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	2,130	3,121				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		7,000	6,580				
人工	正規	1.0	0.9				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		0.1				

## ◇SDGsとの関連

### ・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

### ・事業とゴールの関連性

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・ 事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工